

# 山行報告書

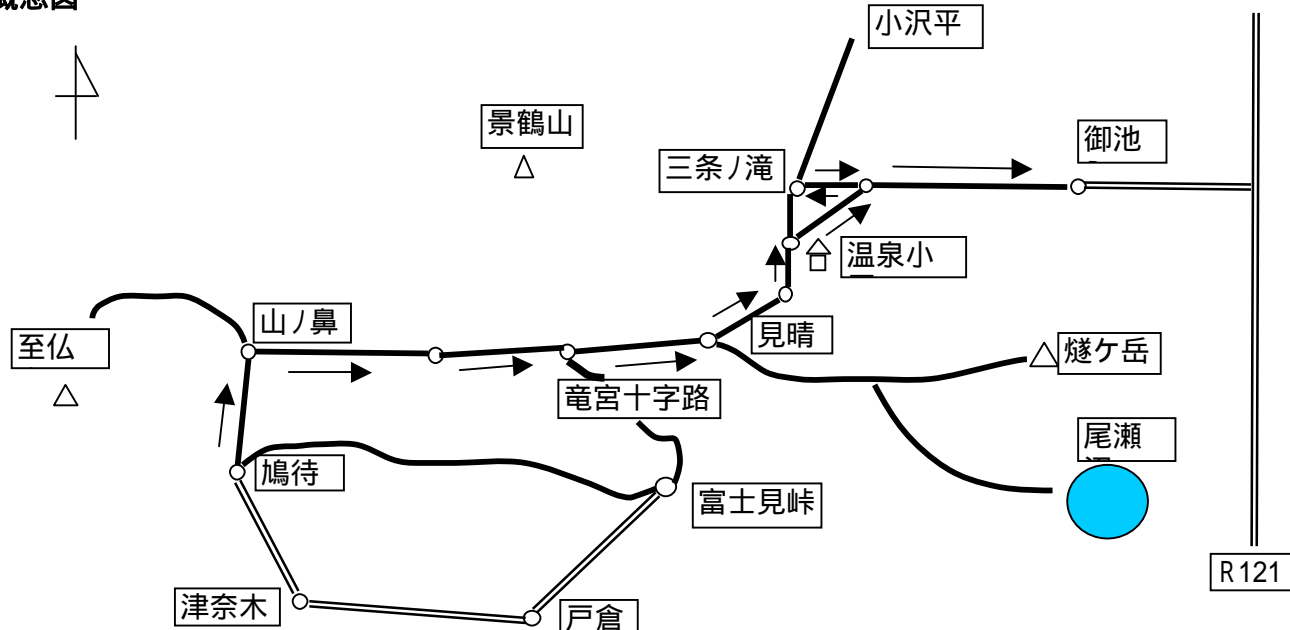
報告書作成

2008年7月20日

山名 [山域]	群馬県 尾瀬ガ原	目的と方法	尾瀬湿原の花鑑賞
登山期間	2008/06/12 ~ 06/14	山行形態	前夜発小屋泊縦走
参加人数	2人		

**行動記録** 12日(木)岡崎(23:55発) = 夜行バス(ドリームとよた号) = 東京13日(5:40着) = JR中央線 = 新宿駅(8:00発)シャトルバス尾瀬号 = 尾瀬戸倉(11:50着)マイクロバス = 鳩待峠(12:30着13:00発) -- 山の鼻 -- 竜宮 -- 見晴し十字路(16:20) -- 下田代(温泉小屋16:40着)泊  
 14日(土)小屋(4:30発) --- 大橋沢(6:30 ~ 7:20) --- 三条の滝分岐(7:40着) --- 三条の滝(8:15 ~ 8:20) --- 三条の滝分岐(9:00発) --- シボ沢つり橋(9:55) --- 天神田代(10:25) --- 西田代(11:00) --- 上田代(11:40) --- 御池田代(12:30) --- 御池駐車場(12:40)昼食・入浴(14:55発)シャトルバス = 東京駅八重洲口(20:30着)  
 夕食(23:00発)夜行バス(ドリームとよた号) = JR岡崎駅(15日5:00着)

## 概念図



## 日誌

夜行バスは定刻に岡崎駅を発車し、すぐに眠りに掛かる。ぐっすりとはいかないまでも、気を使わず、体を休めることが出来るので、山への足としては快適である。早朝の東京駅は日本橋口に着いたようで、しばらく方向を見失ってしまった。JRで新宿に出てバス乗り場を探すのがなかなか大変だった。(来るたびに変わっているので)ここからまたバスで尾瀬戸倉へ(これまたぐっすり)。マイクロバスに乗り換えて鳩待峠着  
 昼過ぎ(やっぱり尾瀬は遠い!)  
 腹ごしらえをしてさあ出発、なのに・あっちでパチリ、こっちでパチリ。花さえあれば全てカメラに収めて、ちっとも前に進まないのに、二人とも全くお構いなし。それでも、見晴らし十字路ではさすがにもう少し急ごうということになって、何とか明るいうちに小屋に到着した。すでに他の泊り客はビールを飲んだり、散歩をしたりとゆったり構えている。女性のみ5人部屋で、単独の写真行の人、ハイキングの2人連れと私たち。静かに早朝出発とする。ここから先は初めての道だが、奥深いブナの森だ。お目当ての花はあった!が、まだ薄暗くてうまく写真に取れない(もともと下手だけど、もっと光を!って感じ)同行のK女子は例のごとく全ての花を撮り尽くす勢いで、無我の境地に入っている。気の済むまでお撮りくださいと、お互い干渉することなく写して、やっと出発。こんな調子では、渋沢温泉小屋を廻るなんてできっこない。三条の滝分岐に来て、K女子がお勧めと言うので、滝に行ってみる事に。往復で1時間。荷物は分岐に置いていったが、なかなか急な下りと登りだ(このコース1番)。あとはそれほどのアップダウンは無いが、何しろこの二人には時間が掛かる。小屋のお兄さんは2時間で行くと言ったが、我々は駐車場まで8時間弱。何していたの?と言われそう。しかし、尾瀬ガ原では遅かった水芭蕉もここでは今が盛り!上州武尊や荒沢岳もりっぱに見えて大満足。御池田代のキンコウカも見事に咲き誇って、何処を見てもパチリ、パチリ。これだけ撮っても1枚くらい良いのがあるかな??くらいのもの。情けない。御池の駐車場に出て、昼食入浴とのんびり構えていて、ハッと気付いたらもうバスの時間。あわてました。そこから、また長い時間をバスに揺られて東京へ。途中家から電話が入り、栗駒の地震を知りました。東北自動車道では赤十字の車何台かとすれ違いましたが、山に入っていると情報不足でまだまだ良く理解できないでしたが、帰ってから大変なことだったのだと知り、一昨年栗駒山を思い出して、とても他人事ではありませんでした。一日も早い復旧を願います。尾瀬で残念なことは、どのブナの木にも落書きが彫ってあること。最近の物ではありませんが、木に自分の名前を彫って何十年も何百年も恥を晒すなんて!恥ずかしいと思わな